Kurilon Workshop News

No. 30

クリロンワークショップ便り
No.30　2018 年 11 月

蔡國華:塔の見える広場 -ラトビア

-----Infomation-----

2019年 卓上カレンダー

クリロンワークショップ代表 栗原明理作品の卓上カレンダーを制作しました。
季節感じる華やかな花の絵「Flower」、静物画を中心とし、モチーフの面白さで毎月の変化が楽しめる「Season」の 2 種類のデザインです。

（デザイン：画空間 豊島 愛）

ユーザーの声をフィルムに表現する
クリロン化成株式会社
http://www.kurilon.co.jp/

心が豊かであるために・・・
KURILON Work Shop
http://www.kurilon.co.jp/company/workshop/

Art Space 画空間
http://www.a-kukan.com/

蔡國華「風景新作展」
エストニア・ラトビア紀行ーバルトの国を描く

「エストニア・ラトビア紀行ーバルトの国を描く」と題した蔡國華氏のスケッチ作品の展覧会が、8月31日から9月6日まで画空間にて開催されました。

これは6月に行われたエストニア・ラトビアスケッチ旅行で描き留めた水彩画による風景、全12点を展示したものです。

エストニア・ラトビアはバルト三国と呼ばれる内の2つの国で、バルト海の東側に南北に並ぶ国になります。気候は日本と同じように四季があり、春と秋が短く冬が比較的長い国のようです。

スケッチ展のために訪れた季節は、夏になる前の6月半ばから下旬にかけて木々の緑がとても美しい時期です。中世の雰囲気が残るエストニアやラトビアの重厚な街並みが、軽やかな光と風の躍る、蔡氏ならではの水彩画によって表現されていました。

展覧会初日は台風のあいにくの天気でしたが、街路樹の緑の色、朝の市場の空気の色、細やかな色使いといった臨場感あふれる作品に、多くの来場者が間近で食い入るように鑑賞されていました。

またスケッチ旅行に参加されたお客様からは、現地の風景が一気に想い起こされたとの感想も頂きました。

スケッチ展ではこの風景を収めた画集も販売され、大好評の内に今回の展覧会は幕を閉じました。

東京営業課　野首　恵子

響
蔡國華 作品
Hibiki
in 軽井沢朗読館

2018年8月14日～9月16日、長野県軽井沢にある軽井沢朗読館で、蔡國華作品展「Hibiki」が開催されました。今にも音色が聞こえてくるようなジャズ奏者の生き生きとした姿を描いた8作品です。

期間中、朗読館館長である青木裕子さんによる「朝の朗読会」のほか、8月26日には詩人の谷川俊太郎さんをゲストに迎え、サックス奏者の坂田明さん、ジャズピアニストの谷川賢作さんによるジャズの即興演奏「空をよみ雲をうたい」が行われ、絵画作品との協奏にお客様も酔いしれているようでした。

9月17日には「森の音楽会」と題したLaturipによるクラシック名曲の演奏と青木裕子さんの朗読とのコラボレーションライブが行われました。想像力を駆り立てられる朗読と迫力ある絵画、そして優雅な音楽の調和は贅沢なひと時でした。

また、毎年軽井沢で開催されているヒューマン・フロンティア・フォーラムが初の試みとしてこの素敵な展示空間の中で行われました。

My空間　坂田　恵子

2019. JAZZ CALENDER
Cai Guo-Hua

2019年 蔡 國華 JAZZカレンダー 販売

「2019 蔡國華 JAZZカレンダー」が、画空間にて12月5日から開催されるカレンダー原画展で販売されます。

力強いジャズ演奏者の絵に雑誌の表紙を模したカレンダーデザイン。ポスターのように壁に飾ったり、テーブルに置いたりとインテリアのアクセントになります。

お求めは画空間ギャラリー、またはamazonで。詳しくは画空間HPをご覧ください。

画空間　豊島　愛

画空間HP：http://www.a-kukan.com/

第14回・HFF ヒューマン フロンティア フォーラム 2018 開催

▲軽井沢朗読館にて

軽井沢に集まるフロンティアな面々。今年も9月にヒューマン・フロンティア・フォーラム（HFF2018）が開催されました。

毎年恒例の二泊三日のプログラム、今年のテーマは「起業とその後～変わるものの中での変わらないもの～」です。本フォーラムも今年で14年目を迎え、フロンティアとして走り続けてきた状態を振り返り、始まりの一歩目とは違う現在の課題や展望を語り合いました。

初日は軽井沢中央公民館に集まり、参加者の活動報告を兼ねた自己紹介でスタート。持ち時間5分はこのメンバーには短すぎ、予定を1時間超える熱のこもった報告が続きました。その後、「人をつなぎ、共通価値を生むというビジネス」と題し、東京の真ん中でイノベーション人材を束ね、オープンイノベーションを生み出す仕組みについて話し合いました。

2日目は場所を軽井沢朗読館に移し、黒潮実感センター長の神田氏による「高知県柏島　島がまるごと博物館～活動開始から20年目にして思うこと～」をテーマに、地域との折り合いの難しさを皆で共有しました。午後は公民館に戻り「鎌倉投信10年の取組から感じる社会と経済の潮流」と題し、鎌倉投信社長の鎌田氏による話題提供と社会と金融の関わりについて深い議論を行いました。

最終日3日目は全体を振り返り、最後まで白熱した議論を重ねました。一年後の再会に向け、今年一年の振り返りと新たな活躍イメージを抱えて、参加者はそれぞれ帰路に着きました。

HFF事務局　田口　真司

第52回 おたる潮まつり

▲チームリーダーのかけ声が響き渡ります

2018年7月28日（土）、第52回おたる潮まつりの潮ねりこみに、今年も「満ち潮隊」として参加しました。全国各地から社員が集い、総勢73名で小樽の街を踊りました。新たなパフォーマンスも取り入れた結果、コンテストの審査講評では『チーム力あり、唄あり、太鼓あり、衣装も綺麗で本来の潮踊りを忠実に踊った』と評価を頂き、昨年に続き全92チーム中、見事優勝。二連覇を達成することができました。

私は今回、大阪から初めて参加させて頂きましたが、小樽のひんやりと澄んだ空気の中踊るのは心地良く、また沿道の方との触れ合いもあり、楽しく踊り歩くことができました。練習を含めて3日間の短い滞在でしたが、踊りを通して普段味わえない一体感を感じ、非常に充実した時間を過ごす事ができました。

人材部　屋良　朝樹

「包装技術」'18年9月号 掲載！

2018年9月1日発行、流通技術の総合誌「包装技術」の特集、"包装技術者の現状と育成"に、当社から寄稿させて頂きました。タイトルは「人材育成のための制度と仕組み」とし、クリロン化成の人材マネジメントに対する考え、また社員育成に繋がる制度や仕組みについて紹介しております。

当社はこのような制度を通し、社員一人一人が能力を発展させ、それぞれが会社での役割を担い、社会全体への貢献を目指しています。また、記事は人材部にて作成しましたが、文章に整理しまとめることで、当社の人材マネジメントについてさらに理解を深めるきっかけとなりました。

人材部　屋良　朝樹